

2021年 2月 5日

「内視鏡的乳頭ラージバルーン拡張術(EPLBD)における有効性と安全性の検討」

1. 研究の対象

2016年1月1日から2020年12月31日までの間に大阪急性期・総合医療センターでEPLBDを施行した患者さん

2. 研究目的・方法

「目的」EPLBDにおける有効性と安全性の検討

「方法」対象患者に関する下記の項目の調査を行う

「研究期間」2021年4月1日～2023年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：患者基礎情報：性別、年齢、EPLBD施行日、術後再建方法、乳頭の処置歴の有無、最大総胆管径、傍乳頭憩室の有無、術後合併症の有無等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がございましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報ならびに知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象といたしませんので、下記連絡先までお申し出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

大阪市住吉区万代東 3-1-56

大阪急性期・総合医療センター 消化器内科

研究責任者：診療主任 清水 健史

電話：06-6692-1201 内線：7446